

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報	
施設名称	鞆公園
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	鞆公園の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との各種連絡調整など）
成果指標	利用者満足度
数値目標	85%以上
指定管理者名	“鞆公園＆地域”デザイングループ 【代表者】モリタスポーツ・サービス株式会社 【構成員】株式会社キョードー大阪 大林ファシリティーズ株式会社 阪神園芸株式会社
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度
数値目標	85%以上
年度実績	90.0%
達成率	105.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	－	－	－
稼働率	－	－	－

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	62,929,000	－	429,000	設備修繕費を精算したため
	計画	62,500,000	－		
利用料金収入	実績	714,970	－	▲ 285,330	ロケーション等の件数が計画と比して減少したため
	計画	1,000,300	－		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	213,500	－	▲ 3,499,000	自主事業について、関係機関との調整に時間を要したため告知期間が確保できず、参加者が少なかったため
	計画	3,712,500	－		
合計	実績	63,857,470	－	▲ 3,355,330	
	計画	67,212,800	－		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	9,269,014	－	▲ 2,330,986	防草シートの敷設やボランティア活動の技術向上に取り組む、維持管理作業の効率化を行ったため
	計画	11,600,000	－		
物件費	実績	53,720,758	－	1,235,758	光熱費の高騰により大幅な経費増となったため
	計画	52,485,000	－		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	435,281	－	▲ 2,692,519	自主事業について、関係機関との調整に時間を要したため告知期間が確保できず、参加者が少なかったため
	計画	3,127,800	－		
合計	実績	63,425,053	－	▲ 3,787,747	
	計画	67,212,800	－		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	105.9%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・簡易な修繕は委託せずに、指定管理者が自ら実施していた。 ・1日3回園内を巡回することにより、大規模な修繕の予防保全に努めていた。 ・共有資料等のペーパーレス化、リサイクルトナーの利用、照明のLED化及び自動水洗化等、経費削減に努めていた。	B	利益配分金なし

令和6年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営		B	・施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況であった。 ・仕様書では週3日以上と定められている園内清掃を週7日行い、園内美化に取り組んでいた。 ・バラの管理について、専門家に状態分析を依頼し、ボランティア活動参加者とともに技術的指導を受け、より良好な状態を維持できるよう努めていた。また、除草対策として防草シートを敷設し、除草作業の効率化と美観保持に努めるなど、バラ園のさらなる改善に取り組んでいた。 ・バラの薬剤散布について、実施頻度の見直しを行うことにより良好な状態を維持していた。 ・ボランティア活動参加者によりバラの調査を実施し、正確な株数を把握し、これを基にバラ園の全品種を掲載した植栽図を作成していた。また、春の開花の時期に向けて、来園者への配布及びホームページへの公開を行い、利用者満足度向上を図っていた。 ・照明器具周辺の障害枝・枯れ枝の撤去や高木について、樹木医による全数簡易健全度診断を行い、危険度が高い樹木については伐採を行うなど、公園利用者の安全確保に努めていた。
事業計画の実施状況		B	・韮公園のホームページを作成し、園内マップやバラの品種マップの掲載、イベント情報や花情報（バラ、サクラ等）の発信を行っていた。 ・SNSを活用し、イベント情報や花情報の配信、京阪電車の「バラ開花情報」に随時情報提供を行うなど、情報発信の強化に努めていた。 ・自主事業として、専門家による「ローズツアー」「樹木医ガイド」等、韮公園の特性を活かしたイベントを実施し、公園の賑いを創出していた。また、「スケッチ教室」「自然観察会」「苔テラリウムづくり」「寄せ植え講習会」等、創作活動ができるイベントを実施し、地域住民との交流を増やすなど、公園利用者から好評をいただいていた。 ・公園利用申請手続きを電子メールで行えるよう整備し、手続きの効率化、手続きに要する日数の短縮を行っていた。
施設の有効利用		B	・指定管理者と近隣町会、専門家での準備会2回を経て、地域の活動団体、行政も含めプラットフォーム会議を2回、交流会を1回開催し、指定期間5年間における韮公園活性化方針等について意見交換を行っていた。 ・4つの分野（環境、園芸、スポーツ、公報）のコーディネーターを配置し、公園活用の促進を図っていた。 ・韮連合振興町会会議への出席、近隣中学校の職業体験の受入れのほか、近隣幼稚園・保育園と花壇の植替え体験を行うなど、地域との連携を深めていた。
社会的責任・市の施策との整合性		B	・園地維持管理で発生した落ち葉を、植栽地土壌の流失化や乾燥化防止用マルチング材として活用し、廃棄物量を削減した。 ・「自然観察会」「樹木ガイドツアー」等、環境学習イベントを実施し、自然と触れ合う機会を創出していた。 ・窓口における筆談対応の表示や、ホームページ・SNSにおける園内のバリアフリートイレの案内等、ユニバーサルな利用のサポートに努めていた。

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

4 利用者ニーズ・満足度等

イベント開催時にアンケート調査を実施し、235名から回答を得た。「公園の管理運営に対して、総合的にどのくらい満足していますか」という問いに対し、回答者の63%が「満足」、27%が「やや満足」と回答し、合計90%が公園の管理運営に満足しているという結果を得ていた。

5 外部専門家意見

- ・初年度から従来通りの管理をするの難しいと思うが、その中でもバラ園の維持管理を工夫して行っており、高く評価できることから、最終評価における加点が認められる。
- ・参加型のイベントで韮公園のファンを作り、民間事業者ならではの活動として評価できる。
- ・地域との連携も初年度にも関わらず積極的に行っており、これからの土台をつくり、目標とする方向に向かっていることがわかる。
- ・韮公園の特性を活かした自然観察会や樹木ガイドツアー等の自主事業は魅力的であるため、関係機関との調整については改善をし、今後に期待したい。

6 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・成果指標に係る数値目標を上回っていることから評価できる
市費の縮減	B	・本市への利益配分までは至らなかったが、経費削減の取組みの創意工夫は評価できる。
管理運営の履行状況	B+	・園内清掃や植栽管理について、仕様書で定めた水準以上で取り組んでおり、評価できる。 ・植物に関する専門的知識を活用し、ボランティア活動とも連携しながら植栽管理を行っており、常に工夫をしていることは高く評価できる。 ・公園の特性を活かしたイベントを行い、賑わい創出を行っていることは評価できる。 ・多様な地域活動との連携も積極的に行い、公園を活用しながら地域活性化へと繋げる取組みができており、高く評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	・概ね事業計画及び本市の定める水準どおりの効果が得られた。
総合評価		